外客の買い物

10月から全品目免税

観光庁　地方に免税店拡大へ

訪日外国人旅行者のショッピングに関し、消費税が免除となる対象が2014年10月から全品目に拡大される。12月24日に決定された政府の税制改正大綱に盛り込まれた。現行では、家電製品や装飾品などに限られていたが、税制改正後は食品・飲料類、化粧品なども免税となる。観光庁は、訪日外国人による地域の特産品などの消費を拡大しようと、地方に免税店を増やす施策を展開する。

Japan. Tax-free Shop
免税店のシンボルマーク

新たに免税対象となる品目では、外国人1人当たり1日1店舗で「5千円超、50万円以下」の購入で免税になる。日常品が対象となることから、旅行中の消費と区別するため、店舗での包装には定められた方法を導入する方針。

家電製品や装飾品など既存の対象品目については、現行通りに外国人1人当たり1日1店舗で「1万円超」の購入が免税の対象となる。

全品目を免税対象にすると同時に、免税店の店頭での手続き負担を軽減するため、免税申請書類の様式の改善、店頭のIT化に対応した手続き手法の簡素化なども進めていく。

現在、免税店は全国に約4千軒あるが、東京や大阪など都市部に集中している。地方に免税店を増やすため、1月中にも国土交通省の各地方運輸局に問い合わせ窓口を設置し、小売業などからの相談に対応する。免税店の設置許可を得るためのマニュアルなども作成する予定。

また、外国人旅行者から「免税店がどこにあるか分からない」といった指摘もあることから、免税店の統一したシンボルマークを制定。制度改正の内容とともに海外にPRし、免税店の認知度向上につなげていく。

宿泊施設の固資税基準見直しを決定　政府の税制改正大綱

政府が12月24日に閣議決定した2014年度税制改正大綱には、与党の税制改正大綱に記載された通り、旅館・ホテルの建物にかかる固定資産税の評価基準の見直しが盛り込まれた。

「鉄骨・鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造」の旅館・ホテルの建物に関し、固定資産税の税額算定の根拠となる固定資産評価基準で、経過年数を現行の50年から45年に短縮する。2015年度から適用する。

また、改正耐震改修促進法に基づき耐震診断を義務付けられた旅館・ホテルを含む商業施設などに対しては、固定資産税の減額などの特例措置が創設された。

観光庁予算案

2%増の98億円計上

ビジット事業を拡充

政府が12月24日に決定した2014年度予算案で、観光庁予算は、前年度当初予算比2%増の98億1100万円となった。復興庁に計上される東北太平洋沿岸部や福島県の観光復興に関する予算を含めると、同1%増の103億5900万円。訪日外国人旅行者2千万人を目指すスタートの年としてビジット・ジャパン事業などを拡充した。

ビジット・ジャパン事業の総額は、同7%増の61億500万円。内訳は、重点市場に対するプロモーション事業に49億300万円、東南アジア諸国への横断的なプロモーションや欧州の潜在市場などへの広告展開を行う戦略的訪日拡大プランの推進事業に12億200万円。

他の主な予算は、MICE（国際会議など）の誘致・開催の促進事業に4億5千万円、観光圏を対象にした観光地域ブランド確立支援事業に2億7400万円、着地型旅行のビジネスモデルを地域に構築するための観光地ビジネス創出の総合支援事業に7200万円など。

予算編成に向けて観光庁が13年8月に財務省に要求した予算額は114億4100万円。復興予算を含めて123億3600万円だった。観光庁は「非公共事業予算にプラスの伸びを見込むのがなかなか難しい中、前年度増の予算が認められた」としている。

補正予算案

観光関係に15億円

春の訪日促進に11億円投入

政府は12月12日、競争力強化などの経済対策を盛り込んだ今年度補正予算案を閣議決定した。観光関係予算では、外国人旅行者の訪日促進キャンペーンに11億円、着地型旅行のビジネスモデル構築を支援する事業に4億円、合わせて15億円を計上した。

訪日促進キャンペーンでは、春季の旅行需要の取り込みに向けてプロモーションを実施。対象市場は、訪日旅行者数の多い東アジア、査証（ビザ）の発給要件緩和で訪日旅行意欲の高い東南アジアに加え、プロモーションにより大幅な旅行者数の増加が期待される欧州、インドなど。

東アジア、東南アジアに対しては、旅行会社を招請してファムトリップや商談会を開催。現地の旅行会社と連携した共同広告も展開する。広告展開では、4月の消費税増税がショッピング観光に影響しないようにPRの仕方を工夫する。欧州などの市場にはテレビCMなどを含めたプロモーションの展開を検討する。

着地型旅行のビジネスモデル構築を支援する事業の正式名称は「観光地ビジネス創出の総合支援」。着地型旅行を推進する地域の団体や企業などが、補助金などに頼らずに収益を確保し、自立的、継続的にビジネスを展開できる仕組みづくりが目的。地域への専門家の派遣、地域での勉強会やシンポジウムの開催に補助金を交付する。意欲ある地域を募集し、数十件を採択して支援する。

逆境をチャンスに〈218〉

―旅館の再生プラン

青木　康弘

設備投資は発想の転換を

2014年の景況感の好転と改善施策の取り組みによって、旅館・ホテルの不動産時価の10%を上回る償却前営業利益を生み出せるようになったら、リスケジュールを超えて債務圧縮の協力が得られるよう交渉を進めよう。銀行や公的機関が暫定リスケに応じてくれるのは一度限りである。いつまでも元本弁済を待ってくれる訳ではない。旅館・ホテル自らが健全化に向けた方針を示し、銀行や公的機関から協力を引き出す積極性が必要である。

旅館・ホテルの再生プランで主要な論点のひとつが設備投資である。今年は耐震改修に伴う設備投資について銀行の関心が一層高まり、重要な論点となるだろう。

リスケジュールの段階では、「設備投資を極限まで減らし、経費削減を徹底的に行うこと」を銀行から指導されていたのに、債務圧縮を伴う再生プラン立案の段階では、「売上計画を必ず達成できるよう集客のための投資は積極的に行うこと」を指導されることがしばしばある。あまりの考え方の転換に面食らう旅館・ホテルの経営者は多い。

これは銀行の担当者の価値判断が変化することが主な原因である。リスケジュールの段階では、銀行の担当者に課せられているのは在職期間における債権回収の極大化であるため、設備投資・経費を減らした分だけ返済するよう要請される。売り上げアップのための設備投資を行うことは効果の発生時期が不確実であるので歓迎されない。

一方で、債務圧縮を伴う再生プラン立案の段階において、銀行の担当者が期待することは、旅館・ホテルの成功事例として社内外にアピールし、後々問題を出さないこと（設備投資は再生したイメージを出しやすいので前向きに検討される）ことになる。

債務圧縮を前提とする再生プランに取り組む場合には、銀行や公的機関の担当者に設備投資の必要箇所や金額を遠慮なく伝えよう。現段階で使用に耐えるものであっても、お客さま満足度を高められる（商品価値がある）とは限らない。露天風呂や食事会場がいまのままで集客につながるとは限らない。10年、15年間のスパンで考えることが必要だ。

（山田ビジネスコンサルティング事業企画部部長）

グランプリにクルーズ客船　COY

日本外航客船協会は第6回目となる「クルーズ・オブ・ザ・イヤー（COY）2013」のグランプリに、日本クルーズ客船の「ぱしふぃっくびいなす就航15周年記念クルーズ」を選んだ。表彰式は12月18日、東京都千代田区の海運クラブで行われた。

同協会および日本旅行業協会の会員会社を対象に募集したところ、21点のクルーズ旅行商品の応募、推薦があり、グランプリ1点、優秀賞、特別賞各3点を決めた。

ぱしふぃっくびいなすの就航15周年を記念して、同船を運航するクルーズ客船は三つのクルーズを実施、いずれも目標を上回る人数を集客したことが評価された。横浜、神戸の二つのクルーズでは多彩なアーティストらによるイベント、日本船ならではの和の演出などを盛り込み、「関東、関西の各マーケットにおける新規顧客の掘り起こしにも貢献した」と同協会。

講演会のご案内

本紙読者ご招待

日頃は弊紙をご愛読頂きありがとうございます。さて本紙加盟の公益社団法人日本専門新聞協会では下記要領で恒例の「新春講演会」を開催致します。

この講演会には本紙読者の皆様も参加出来ますので、多数のご参加をお待ち申し上げております。

日　時　平成26年1月29日（水曜日）
午後3時30分～同5時00分
（3時00分から受付開始）

開催場所　霞が関ビル35階（東海大学校友会館）「阿蘇の間」
東京都千代田区霞が関3－2－5　霞が関ビル
TEL 03－3581－0121

開催内容　「新春講演会」
講　師：東京都市大学 環境情報学部教授
造園家　涌井　雅之氏
テーマ：「環境革命と国づくり、人づくり」
――東京オリンピックを転換点に――

申込方法　下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて26年1月23日までにお申込み下さい。折返しFAXで参加券をお送りいたします。

募集人員　先着200名様（参加無料）

申込先　公益社団法人日本専門新聞協会
FAX 03－3508－8888・TEL 03－3597－8881

参　加　申　込　書

ふりがな 氏名			
電話		FAX	
会社名又は団体名			
本紙新聞名			

総合

「ゆ」は一番の自然

精神科医・作詞家　きたやま　おさむ

私たちは「自然」という言葉を好み、自然を理想化しています。つまり、「自然が一番」「自然に生きたい」とよく言います。しかし、「それが自然」や「それは不自然」と言う時の「自然」は、どこでどうやって分かるのでしょう。

実に自然か不自然かの問いかけは、答えがどっちつかずになって揺れるのです。たとえば、舞台の演出家が役者さんに「自然な演技」を要求したとしますね。すると、演技は人工的であり、演技が自然か不自然かはなかなか区別できないのです。そして、自然と不自然を分けようと頑張ると、無理な思考そのものが不自然となり、ほどよいところで止めなければと思って止まったところこそがちょうど良いことが多いのです。

日本語で悪い意味の「いい加減」と良い意味の「良い加減」の両方が、どっちつかずになってぶれる時、その真ん中あたりに「ちょうど良い加減」がありそうです。似たような言葉の「適当」や「平凡」が良い意味と悪い意味、つまり肯定と否定の二つの意味を持っているのは周知の通りですが、その両面に二股かけて意味がぶれ、やがて落ち着いたところに適当な着地点がありそうです。

それらには、分かろうとしても分からないところがあって、そこでは意味のぶれや混乱が生じます。私たちがこの動揺を何とか抑えようとしても、「仕方ない」「きりなし」と言って、「あきらめ」の心境や境地が発生するのです。「仕方ない」「どうしようもない」「余儀なし」というのは、方法の枯渇を言っており、「やむなし」「きりなし」とは終わりがないことを強調しています。ここに、千手観音のごとく「あの手この手」を使い果たし、突き進む思考を断念させ、きつい思考が「ゆるむ」ポイントがあります。そしてその後は、時間や自然、川の流れ潮の流れにまかせ、ユッタリと過ごすしかないわけです。

私個人は、ここで考えすぎに苦しむ患者の貴重な「ゆるし」とはユックリ、ユッタリとして、ユルユルとした時間に身を置くことだと考えたことから、ユの音の重要性に気がついたのです。そして、「日本語源大辞典」（小学館）で「ゆ（湯）」を引くなら、語源は「ゆるむこと」「ゆるし」に集中します。ここに挙げられた記載に、多くが納得することが何でしょう。

温む意で、ユルミ（緩）を休ませることが許されていると感じるのです。ユックリ、ユッタリし、「ゆとり」「よゆう」が生まれます。そして、ここにユやユウという音が何度も出てくることが何よりも興味深いのです。

湯冷めする前に、のぼせる前に出る

考えすぎに苦しむ患者の義〈名言通〉。

微温の意でユ（寛）の義か〈日本語源＝賀茂百樹〉。

冷水では縮まるようであったものが、沸かすと身もゆるやかになるところから、ユルシの略か〈日本声母伝〉。

ユルム（緩）のユと同根で、水の温まる有様をいう。

ユウと発音しながら周辺を巡ってみた時の発見は、これが人生における自然な経験を広くカバーし健康の基盤を形成していることです。総じて自分に根拠と余裕をもち雄大で大きく、人目を気にしない「私」が内側から大きな広がりをもって悠々と「ある（有）」のです。だから、湯という自然を楽しめるなら、身も心も癒やされるのでしょう。ユウの友は大事だし、青山心理相談室）院長を経て、10年春まで九州大学院教授。現在は、臨床の傍ら白鴎大副学長、国際基督教大客員教授を務める。また、67年、「帰って来たヨッパライ」（ザ・フォーク・クルセダーズ）でマスコミデビュー、作詞家としての代表作は「戦争を知らない子供たち」「あの素しい愛をもう一度」など。著書は「北山修／きたやまおさむ　百歌撰」（ヤマハミュージックメディア）、「帰れないヨッパライたちへ～生きるための深層心理学」（NHK出版新書）、専門書で「評価の分かれるところに」（誠信書房）など。

※似顔絵は永六輔さんのイラスト

でる。愉は愉快のユ。そして遊は、あそび楽しむ。医師として大事な、病気が癒える癒というのもあります。

このようにユ、そして、「極楽」であっても、湯冷めする前に、そしてのぼせる前に、適当なところで出るくらいが、ちょうど良いのでしょう。やはり、何事も自然が一番なのです。

びのびとさせます。

しかし、このユの喜びは長くは許されません。このユが過剰になるなら「ゆゆしき」で、憂うべき事態となるのです。湯は冷めるので、いくら「極楽」であっても、湯冷めする前に、そしてのぼせる前に、適当なところで出るくらいが、ちょうど良いのでしょう。やはり、何事も自然が一番なのです。

1946年、兵庫県淡路島生まれ。72年、京都府立医科大卒業。ロンドン大精神医学研究所での研修、北山医院（現・南

謹賀新年

楽天トラベル

もっと世界と
出会う旅。

http://travel.rakuten.co.jp　楽天トラベル　検索